

事前評価報告書

総合理工学研究機構運営委員会

平成20年10月27日(月)

研究課題	化合物半導体多層太陽電池の開発	
研究期間	平成21年度～22年度	
	評価項目	平均点
	研究の背景	4.4
	研究目的の妥当性	4.0
	研究内容の合理性・新規性	4.5
	研究予算の妥当性	3.2
	目的達成の可能性	3.8
	期待される研究成果	4.2
	予備研究の状況	3.8
	総合評点	4.2
<p>現在の太陽電池の製造は、単結晶の製造設備や薄膜用の真空機器などコストのかかる生産設備が主流である。この研究のESD法は、極めて低コストで、かつ変換効率の高い化合物半導体太陽電池の製造方法を開発するものであり、短期間での目標の達成を期待する。</p>		